

## 阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター

＜噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）が継続＞

中岳第一火口では、昨日（25 日）の噴火発生以降、断続的に噴火が発生し、本日（26 日）17 時現在も継続しています。この噴火による降灰は、同火口から東側約 40km の大分県豊後大野市にかけて確認されました。今後も噴火が繰り返し発生する可能性があります。

### 【防災上の警戒事項等】

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

### ○ 噴煙など表面現象の状況（図 1～3）

阿蘇山では、昨日（25 日）の噴火発生以降、断続的に噴火が発生し、本日（26 日）17 時現在も継続しています。

遠望カメラによる観測では、本日 05 時 04 分頃にごくわずかな噴石が火口縁上約 100m まで上がりましたが、火口周辺への飛散はありませんでした。08 時 30 分には、灰白色の噴煙が火口縁上約 1,000m まで上がりました。

本日実施した聞き取り調査の結果、阿蘇中岳第一火口の東側にあたる熊本県阿蘇市波野から大分県豊後大野市（中岳第一火口の東側約 40km）にかけてと、南東側にあたる宮崎県五ヶ瀬町及び南側にあたる熊本県南阿蘇村から山都町にかけて、降灰を確認しました。

阿蘇火山博物館の火口カメラでは断続的に火炎<sup>1)</sup>を確認しています。

1) 高温の噴出物が炎のように見える現象です。

---

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、九州大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図1 阿蘇山 噴火の状況（26日05時04分 草千里遠望カメラ）  
ごくわずかな噴石が火口縁上100mまで上がりましたが、火口周辺への飛散はありませんでした。



図2 阿蘇山 熊本地方気象台（熊本市）からの噴火の状況（26日07時28分頃撮影）  
噴煙は火口縁上800mまで上がりました。

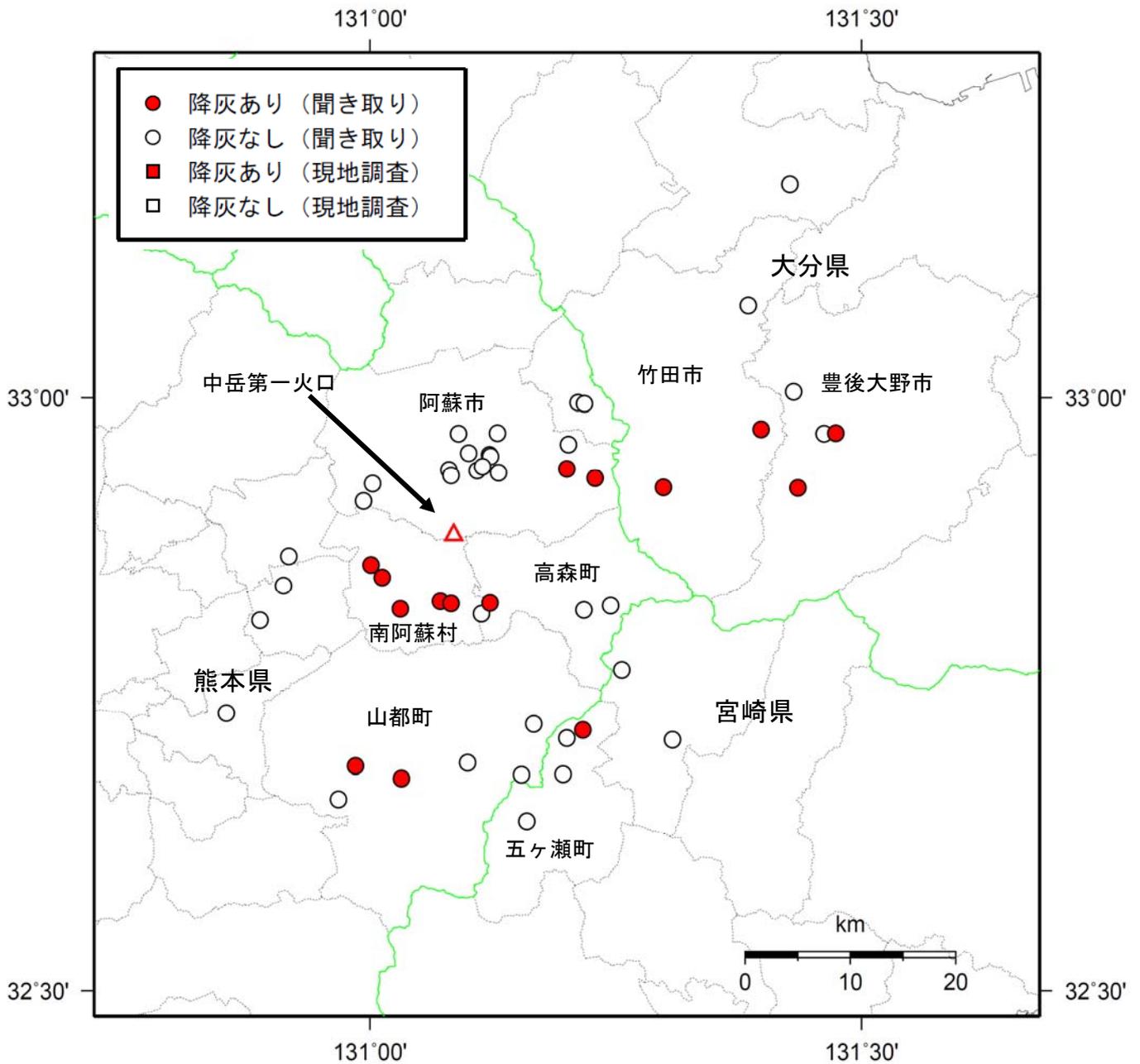


図3 阿蘇山 噴火に伴う降灰の調査結果

福岡管区气象台、熊本地方气象台、大分地方气象台、宮崎地方气象台が実施した聞き取り調査の結果、阿蘇中岳第一火口の東側にあたる熊本県阿蘇市波野から大分県豊後大野市（中岳第一火口の東側約40km）にかけてと、南東側にあたる宮崎県五ヶ瀬町及び南側にあたる熊本県南阿蘇村から山都町にかけて、降灰を確認しました。